

前回定例会（令和 7 年 5 月 14 日）以降の資源エネルギー庁の動き

令和 7 年 6 月 4 日
資源エネルギー庁
柏崎刈羽地域担当官事務所

1. エネルギー政策全般

○2025 年度夏季の電力需給対策を取りまとめました【5 月 23 日】

<https://www.meti.go.jp/press/2025/05/20250523008/20250523008.html>

5 月 23 日に開催した総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会において、2025 年度夏季の電力需給対策を取りまとめました。

・2025 年度夏季の電力需給見通し・対策のポイント

2025 年度夏季の電力需要に対する供給力の余力を示す予備率は、全エリアにおいて、安定供給に最低限必要な予備率 3%を確保できていること等を踏まえ、節電要請は実施しません。

他方、供給サイドは、確保している供給力の中に老朽化した火力発電所が含まれているなど、構造的な課題を抱えており、設備トラブル等のリスクを踏まえると、予断を許さない状況です。

このため、これらの課題に対応し、今夏の電力需給の安定化に万全を期す観点から、昨夏に引き続き、発電事業者に対する保安管理の徹底の要請等の供給力対策等を講ずることを決定しました。

○武藤経済産業閣議後大臣記者会見（毎週火曜・金曜、エネルギー関連抜粋）

➤ 5 月 20 日 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250520001.html>

（高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定）

文献調査を受け入れていただきました寿都町及び神恵内村の皆様においては、本当に、4 年間にわたり最終処分の問題に向き合っていただきまして感謝申し上げたいと思います。国としても、対話活動や説明会を通じて、地域の方々の御疑問に真摯に向き合ってきているところがあります。選定プロセスの見直しですとか、国の一層の関与について求める声があることは重く受け止めていきたいと思っています。最終処分の実現に向けて、どのような形がよいのかという観点から、こうした意見も参考に、引き続き、検討してまいりたいと思っています。

(燃料油価格定額引下げ措置)

燃料油価格の定額引下げ措置は、段階的に補助を増やします。ガソリン価格はすぐに 10 円下がるわけではありません。これはもう従来から申しているとおります。この点を御理解いただくため、当省のウェブサイト、また、公式 X 上で周知・広報を行うだけではなくて、全国のガソリンスタンドにポスター、ステッカーを配布させていただいたところです。給油中に目に留まる場所に貼るようお願いをしております。

また、足元では原油価格が低下傾向にあります。この従来の支援方式では補助額はゼロとなっておりますけれども、新たな支援策であれば価格を低下させることができ、物価高に苦しむ国民の皆さんの負担軽減につながると考えております。

ガソリン税廃止というお話もありますけど、これは、答弁でもいつもさせていただいているとおりで地方の財源問題もあります。そういう意味では、しっかりこれからも各党の議論に注視しながら我々も対応させていただきたいと思っています。

➤ 5 月 23 日 高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250523001.html>

(今夏の電力需給見通し)

(冒頭発言)

本日の資源エネルギー庁の審議会で、夏の需給対策を取りまとめる予定です。この夏は最低でも予備率 7%以上を確保できる見通しであるため、節電要請を行わない予定です。他方で、異常気象ですとか、発電所のトラブル停止のリスクなど予断を許さない状況でありまして、緊張感を持って電力需給のモニタリングを行ってまいります。

(高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定)

島根県益田市に関する報道は承知しているところですが、地域や団体からの意思表示がなされているという段階ではなくて、コメントは差し控えたいと思います。また、選定プロセスの見直しを求める意見があることは重く受け止めているところです。最終処分の実現に向けて、どのような形が良いのかという観点で、こうした意見も参考にしながら、引き続き検討していきたいと思います。本当に、地域の御理解なくして、処分地選定を進めることは困難です。引き続き、地域の声に丁寧に向き合いながら、全国で議論が深まっていくように、国が前面に立って取り組んでまいりたいと思っています。

(電気・ガス料金支援)

電気・ガス料金支援につきましては、報道も承知しているところでありますけれども、現在、検討をまだ行っている段階でありまして、適切なタイミングで公表させていただきたいと思っています。

(九州電力による原子力発電所の新增設)

19 日に九州電力が発表した経営ビジョンの中で、次世代革新炉についての言及があったことは承知しているところです。具体的な地点等についての言及はないと承知しているところであります。政府としては、エネルギー基本計画で示した方針の下で、引き続き、立地地域や事業者とコミュニケーションを重ねながら、次世代革新炉の具体化に向けた取組を進めてまいりたいと思っています。

➤ 5月27日 電気・ガス料金支援 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250527001.html>

(電気・ガス料金支援)

(冒頭発言)

本日の閣議において、電気・ガス代の支援及び重点支援交付金の積み増しのため、予備費の使用決定を行いました。電気・ガス代の支援については、低圧で、7月と9月は1キロワットアワー当たり2円、使用量の多い8月は2.4円を支援します。標準的な家庭では、ガスと合わせて3ヶ月で3,000円程度の負担が引き下げられます。これまでの国際的な燃料価格や直近の為替水準を前提とすれば、7月から9月の電気料金は昨年より下がることが見込まれております。併せて、重点支援地方交付金を活用しました、特別高圧あるいはLPガスを使用する中小企業への支援等について自治体へ周知してまいります。詳細は、本日、事務方よりブリーフィングを行いたいと思います。

(質疑)

今年の夏対策ということで、去年も酷暑対策ということでありましたが、今年も各党、与党からの御要請もありましたので検討させていただいて、このような措置をさせていただいたところであります。

これはいつまでもやるというものではないと思います。これはもう、やはり脱炭素の見地から言っても、いつまでも続けられるものではありませんけれども、今回はそういう今の国民の生活のいわゆる苦労というものもやっぱり鑑みながら、酷暑対策を引き続きさせていただいたということになるんだと思います。

➤ 5月30日 福島第一原子力発電所2号機から試験的に取り出した燃料デブリの分析結果 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250530001.html>

(福島第一原子力発電所2号機から試験的に取り出した燃料デブリの分析結果)

今回報告されました分析の速報によれば、2回目の作業で採取された燃料デブリは、1回目と同様に核燃料由来の成分を含むこと、そして、1回目と比べると「色が明るい」ですとか、「表面に空洞がある」などの外見の特徴があることが確認されたと承知しているところです。

今年夏頃を目途に取りまとめる1回目の燃料デブリの詳細分析結果とあわせて、燃料デブリの性状や分布などに関して、一層の知見が得られるものと期待しているところです。

東京電力には、得られた知見を、燃料デブリの大規模取出しなど、今後の作業に適切に反映し、安全かつ着実な廃炉を進めていただきたいと思っています。

➤ 6月3日 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働 他

<https://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2025/20250603001.html>

(柏崎刈羽原子力発電所の再稼働)

柏崎刈羽原子力発電所につきましては、再稼働について地元のご理解を得られるように、引き続き、丁寧に取り組むことが何より重要だと承知しています。地元の実情を踏まえつつ、丁寧で分かりやく情報発信、また、関係省庁と連携しまして原子力防災対策の強化などを進めてまいりたいというふうに思います。また、東京電力は、今のお話のように、7号機、6号機の順での稼働の意向を引き続き有しておられると思いますが、10月に7号機のいわゆる特重施設の設置期限もあります。現場の安全や地元のご理解の状況なども踏まえて、総合的に判断する方針と承知しているところであります。政府としては、新規制基準への適合が認められた6号機及び7号機の再稼働について、地元のご理解が得られるよう取り組む方針に変わりはありません。

(GX 脱炭素電源法の施行)

今般施行される原子力発電所の運転期間延長制度、これは、既設炉の最大限活用に資する制度ということで法改正をさせていただいたところです。

電力需要の増加が見込まれる中で、安全性の確保を大前提とした上での既設炉の最大限活用、こういうものは電力供給構造の強靱化ですとか電気料金の抑制、そして、脱炭素電源の確保といった観点で大変重要な意義があるものであります。こうした点が達成されますように、電気事業法の規定ですとか、審査基準に則り、着実に本制度を執行してまいりたいと思います。

(米国トランプ大統領による原子力発電の推進)

背景的には今の電力需要の増加ということが多分アメリカの国内でも相当問題になっている上でのお話だと思います。現在も多くの原発を有しておりますし、スリーマイルの事故もあった米国ですので、やはり、そういう安全性を基に、これからやられていくんだろうと思っております。世界的にも、やはり原発というものがある意味で、ヨーロッパもそうですけれども、今、いろんな再稼働の動きがあるのも事実です。だから、やはり我々としては、安全をまず第一に、ここは福島事故をしっかりと教訓としながら、これからも考えていかなきゃいけないということだろうと思います。

○エネこれ（エネルギーの「これまで」と「これから」）

- (1) 大阪・関西万博で「福島復興展示」開催。未来に向け共創の輪が広がる “復興の今” に注目！【5月16日公開】

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/fukushima_fukkou_expo2025.html

- (2) ガソリン価格の引き下げはいつから？今後どうなる？よくある質問に、資源エネルギー庁がお答えします！【5月20日公開】

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/gasoline_price_shien_2025.html

- (3) 大きく変化する世界で、日本のエネルギーをどうする？「エネルギー基本計画」最新版を読みとく（後編）【5月26日公開】

https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/energykihonkeikaku2025_02.html

- 「第7次エネルギー基本計画」で変更された政策は？継続する政策は？
 - ・省エネ・非化石転換：省エネの重要性は変わらず、非化石燃料への転換もさらに重要に
 - ・脱炭素電源：「再エネか原子力か」ではなく、脱炭素電源の最大限活用
 - ・次世代エネルギー／化石資源：今を支える資源と次世代エネルギーの確保と体制づくり
- 2040年のエネルギーはどうなる？CO2削減は？自給率は？

※「エネこれ」ホームページ

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/>

（当事務所でも紙媒体で配布しています）

※「みんなで考えよう、エネルギーのこれから（30秒Ver.）」（YouTube）

<https://www.youtube.com/watch?v=NrNNnZ0dLuA&t=9s>

●経済産業省 X（旧 Twitter）公式アカウント

https://x.com/meti_NIPPON

●METI CHANNEL（当省のYouTube 動画配信サイト）

<https://www.youtube.com/@metichannel/featured>

●資源エネルギー庁メールマガジン（配信登録）

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/mailmagazine/>

●統計ポータルサイト（エネルギーに関する分析用データ）

<https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/>

2. 事務所活動

○（一社）全国原子力立地市町村商工団体協議会地域振興懇談会出席（5月27日）

5月27日から28日に開催された同協議会の総会、地域振興懇談会、現地研修等のうち、27日に開催された地域振興懇談会に前田立地政策室長と共に出席しました。



（第7次エネルギー基本計画等について講演する前田室長）

○柏崎刈羽原子力発電所に係る国及び県の取組に関する説明会傍聴（6月1日）

6月1日に柏崎市民プラザで開催された同説明会に傍聴出席しました。

3-1. 各種委員会開催状況等（エネルギー全般）

※該当する委員会等の開催はありませんでした。

3-2. 各種委員会開催状況等（電気・ガス事業関連）

○第16回 同時市場の在り方等に関する検討会【5月20日】

市場価格算定方法（検証B）に関する進捗報告等について報告・議論が行われました。

○第1回 次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会【5月23日】

次世代の電気事業の在り方と電気事業を取り巻く状況、2025年度夏季の電力需給対策等について報告・議論が行われました。

○第103回 電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会【5月28日】

長期脱炭素電源オークション等について報告・議論が行われました。

3-3. 各種委員会開催状況等（新エネ・省エネ他）

○第2回 エ場等判断基準ワーキンググループ【5月14日】

省エネ法に関する措置について報告・議論等が行われました。

○第 7 回 次世代燃料の導入促進に向けた官民協議会 商用化推進 WG【5 月 22 日】

ガソリンのバイオエタノール導入拡大に向けたアクションプラン等について報告・議論が行われました。

○第 73 回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会【5 月 27 日】

2030 年エネルギーミックスの進捗状況と 2040 年に向けた取組について関係省庁ヒアリング・議論等が行われました。

○第 74 回 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会【6 月 3 日】

今後の再生可能エネルギー政策について報告・議論が行われました。

3-4. パブリック・コメント募集中案件（当省原子力関連）

現在募集中の案件はございません。

※パブリック・コメント全体につきましては、e-GOV ポータルの「パブリック・コメント」をご覧ください。

（e-GOV ポータル）

<https://www.e-gov.go.jp/>

（以上）